

副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	企画調整部 (企画課)
2 協議事項 (案件名)	常葉大学浜松キャンパス移転への対応
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧高砂小跡地活用に対して、2023年7月および9月に地元自治会から要望（施設の一般開放、地域防災機能、周辺道路整備など）を受理。 ・旧高砂小学校跡地について、2024年1月に公募型プロポーザル方式により学校法人常葉大学に買受候補者を特定し、2024年9月に本契約の締結を予定している。 ・大学は2028年4月に浜松キャンパスの移転を予定（学生約1,600人、教職員約200人）している。 ・駅南地区では大学のほか、2023年4月に浜松工科自動車大学校が開校し、今後、浜松調理菓子専門学校も移転も予定されている。 ・市と大学は2017年3月に包括連携協定を締結している。 ・市は2026年3月に中心市街地活性化基本計画の認定を目指している。また、合わせて中心市街地活性化ビジョンも策定予定。 <p>◆議会答弁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【2024.5／平野岳子議員質問】関係部局が分野横断的に連携するとともに、市が各大学と締結する包括連携協定を活用し、地域や企業、団体等を巻き込みながら取り組む。（市長答弁） ・【2024.5／大城七瀬議員質問】まちなかの賑わい創出に向けて、市内の関係部局が連携し、ハードとソフトの両面から対応を検討するとともに、大学と地域が連携・協力できるよう支援していく。（企画調整部長答弁） ・【2024.5／黒田豊議員質問】（大学や専門学校の移転は）活性化に向けた議論を官民で進める絶好の機会であると考え、今年度から中心市街地活性化に向けたビジョンと中心市街地活性化基本計画の策定に着手する。（産業部長答弁）
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで地元調整は教育委員会、土木部、アセットマネジメント推進課が携わってきた。 ・キャンパス移転により、多くの学生が駅南地区に集まるという好機を逃さず、駅南地区及び中心市街地の活性化に向けた方策を検討する必要がある。 ・市と大学だけでなく地域、企業、団体を巻き込んだ取組が求められる。
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅南地区及び中心市街地のにぎわい創出や、学生のまちづくりへの参画などにつなげる方策を検討する。 ・大学と地域の連携に留まらず、様々な主体（商業者、飲食店、学生向け住宅等）による中心市街地での活動を促進する。 ・上記の方策を検討するため、課長級の市内PTを設置し、9月の本契約に合わせて市内PT会議を開催する。 ・方策の実施に向けて、市と大学が継続的に協議する体制を整える。 ・地域、企業、団体等を含む連携体制の構築について検討する。 ・常葉大学浜松キャンパス移転にかかる調整は、企画課を中心に中心市街地活性化基本計画の策定と連携しながら関係各課と協力して対応する。

<p>5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望事項や想定する支援内容を踏まえた、庁内 PT での協議事項の妥当性 ・ 大学、地域との調整方法、時期 ・ 連携する企業等の選定と調整方法 	
<p>6 結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 提案どおり進める □ サマーレビューで審議 □ 提案内容を一部見直して進める □ 再度、調査研究等を行い検討 □ その他 	<p>具体的内容</p>
<p>7 その他</p>		